



聖徳大学言語文化研究所 主催

英米文学の名作を読む

参加費
無料

会場	聖徳大学生涯学習社会貢献センター（聖徳大学10号館）
定員	70名（事前申込不要）

研究発表会

日時	平成24年 1月28日 （土）13:00～14:30	平成24年 2月25日 （土）13:00～14:30
発表者	藤井 繁 （聖徳大学名誉教授）	宮内泰彦 （元聖徳大学兼任講師）
演題	エミリー・ブロンテ『嵐が丘』 一隠された謎「ヒースクリフ」とは誰か？	エリオットとヴァレリー 一善く生きようとする意志一

シンポジウム

日時	平成24年 3月17日 （土）13:00～15:00	平成24年 3月31日 （土）13:00～15:00
演題	文学の多様な視点を探る	文学の多様な手法を深める
司会	藤井 繁 （聖徳大学名誉教授）	深沢俊雄 （聖徳大学人文学部英米文化学科教授）
発題者	『ダーバヴィル家のテス』に見られる方言について 井村 猛 （聖徳大学兼任講師）	『西部巡回裁判の途上で』―「手紙」という虚構の世界 天野暁子 （聖徳大学兼任講師）
	D.H.ロレンス『狐』―バンフォードの死を巡って 武田久子 （日本大学兼任講師）	『見知らぬ3人の男』―物語中心の「語り」が伝えるもの 山下登子 （日本大学兼任講師）
	『キャスターブリッジの市長』―穀物取引を巡る攻防と「時」 小山 努 （聖徳大学兼任講師）	『森林地の人々』―ヒロインの内面葛藤を巡って 富永久子 （聖徳大学兼任講師）

〒271-8555

千葉県松戸市岩瀬550

聖徳大学言語文化研究所（知財戦略課）

電話：047-365-1111（大代）

ホームページ：<http://www.seitoku.ac.jp/kenkyujyo/gengo/>

